

二〇一四年五月九日 開催 〈本学イペロアメリカ言語学科 共催〉  
《フォーカス》

## キューバは今——日本外交の現場から

佐藤博史

(執筆＝柳沼孝一郎)

■講演者……佐藤博史(在キューバ日本国特命全権大使)  
■司会……柳沼孝一郎

在キューバ日本国大使館、佐藤博史特命全権大使による講演会『キューバは今——日本外交の現場から』が二〇一四年五月九日(金)、本学グローバル・コミュニケーション研究所とイペロアメリカ言語学科の共催、本学「地域・国際研究分野会議」協力のもと、本学二一三〇一教室において、佐野理事長はじめ酒井学長、多くの教職員・学生・一般の方々の出席のもと開催された。

今回の講演会は佐野理事長はじめ本学代表の一行のキューバ訪問、および支倉常長慶長遣欧が今から四〇〇年も前にスペイン、ローマに渡る途上、キューバを訪れた歴史の出来事を記念し(ハバナの支倉公園に建つ支倉像写真参照)、本学グ

ローバル・コミュニケーション研究所共同研究(東西交流の起源—大航海時代と日本 一六・一七世紀における日本・メキシコ・ポルトガル・スペイン交流史)の一環として実現したものである。

二〇一三年八月、理事長一行は、米国とメキシコそしてキューバで活躍する本学卒業生を訪問、より一層の親交を深めるとともに、グアダハラハラ大学およびグアダハラ自治大学(ともにメキシコ)など関係大学との学術協定の拡大および活性化を協議、さらにインターシップ実施に向けて進出する日本企業を訪問したが、日本外務省在外公館派遣生としてキューバの首都ハバナの日本大使館に勤務する神愛美さん(本学スペイン語学科卒、現在は本学教務部国際交流課に勤務)を訪問の折、佐藤特命全権大使と歓談する機会があり、それを機に今回の佐藤大使の講演会が開催されたものである。

今回の講演会で佐藤大使は外交官としての長年のキャリア



佐藤博史特命全権大使



講演終了後、佐藤大使を囲んで



ハバナの支倉公園に建つ支倉像

を披露するとともに、外交官の仕事および使命について講演し、キューバの自然環境、スペイン植民地統治時代、ホセ・マルティの指導による独立（\*参考図書：青木康征・柳沼孝一郎訳『ホセ・マルティ選集②飛翔する思想』、日本評論社）、米国とスペインの戦争「米西戦争」、そしてカストロ兄弟やチェ・ゲバラによるキューバ革命、さらにキューバ危機などキューバの歴史を概説し、日本とキューバの国交関係についても支倉常長慶長遣欧使節のキューバ訪問、明治期の日本人キューバ移住、一九二九年の日本キューバ国交樹立、現在の在キューバ日系人社会など広範囲にわたり講演された。会場

の学生からは多岐にわたり質問が出され、佐藤大使はそれぞれについて懇切丁寧に返答された。  
加えて、参加学生から「キューバ・スタディツアー」を実現していただきたいとの要望も出され、目下、当スタディツアーの実施に向けて在キューバ日本大使館と協議中である。  
キューバ危機の勃発以後、国交が断絶されていた米国とキューバの両国政府間で国交正常化に向けて鋭意、交渉中であり、今後の動向が注視されている現在、キューバ研究およびキューバ・スタディツアーは是非とも実現させたいと期望するものである。

ハバナ大聖堂



革命広場ゲバラ

ハバナ音楽団



ハバナの小学生